



黒谷上人繪詞

自卷一
至二



黒谷上人とは法然(一一三三)の異称。

法然は浄土宗の開祖、諱は源空

円光大師の号を贈らる

本書はおそらく、知恩院と当麻寺の蔵する
法然上人絵伝(四十八巻)の絵詞を抄出した
ものと思ふ。
また、本書が発展して円光大師行状書(因
翼賛)(六十巻・宝永元年刊)となったのである。

村井順



黒谷上人傳繪詞第一目錄



一巻

序 出胎事

時國死門事

二巻

定明逐電事

菩提寺入室事

三巻

小兒上洛事

同登山事

童子入洛事

四巻

同出家事

黒谷慈眼房渡事
功德院渡事

黒谷隱居事

瑩峨釋迦堂參詣事

南都渡給事

五巻

仁和寺華嚴談義事

御室參會事

慈眼房法談事

傳繪詞

目錄

弘法大師夢中問答事
 圓頓戒談義事
 胎輪殿上人與山僧法談事
 上人與靜嚴法印堅義傳受事

黒谷上人傳繪詞第一卷

第一段

夫以我本師釋迦如來ハアミ子ク流浪三東ノ迷徒ヲ
 スクハニカタメニフカク平等一子ノ悲願ヲオコシニミスニ
 ヨリテ忽ニ無勝莊嚴ノ化ヲカクシテ忝モ娑婆濁惡ノ國
 ニ入り給レヨリコノカタ非生ニ生ヲ現シテ無憂樹ノ花
 アミラフクミ非滅ニ滅ヲ唱テ堅固林ノ風心ヲイタミム
 在世八十箇年慈雲ヒトシク群生ニオホヒ滅後二千
 餘廻法水ナラニ國ニチカル教門ニナコトニ利益コレニチ
 マチナリソノナカニ聖道ノ一門ハ穢土ニシテ自カヲハケレ
 濁世ニアリテ得道ヲ期ス但オノラクハトキ澆季ニ及テニ

空ノ月クモリヤスク。心塵縁ニハセテ。三惡ノホノホ。マヌカシ
カタシ。煩惱具足ノ凡夫。順次ニ輪迴ノ里ヲ出ヌヘキハ。コ
レ淨土ノ一門ノミナリ。コレニツキテ。諸家ノ解尺。蘭菊羨
ヲホシキマ、ニストイヘトモ。唐朝ノ善導和尚。彌陀ノ化身
トシテ。ヒトリ本願ノ深意ヲアラハシ。我朝ノ法然上人。勢
至ノ應現トシテ。モハラ稱名ノ要行ヲヒロメタマフ。和漢國
コトナレトモ。化導一致ニシテ。男女貴賤。信心ヲ得ヤスク。
紫雲異香。往生ノ瑞スコフルシゲシ。念佛ノ弘通コ、ニ尤
サカシナリトス。シカルニ上人遷化ノノチ。星霜ヤ、ツモレリ。
教誡ノコトハ。利益ノアト。人ヤウヤクコレヲソランセス。モレシ
ルシテ。後代ニト、メスハタシカ賢ヲミテ。ヒトシカラシコトヲオモ

ヒ。出離ノ要路アルコトヲレラシ。コレニヨリテ。ヒロク前聞ヲト
ノラヒ。アマ子ク。舊記ヲカシカヘ。マコトヲエラヒ。アママリヲタ、レ
テ。粗始終ノ行狀ヲ録スルトコロナリ。ヲロカナル人ノサトリ
ヤスク。ミンモノ、信ヲス、メシカタメニ。數軸ノ畫圖ニアラハシテ。
萬代ノ明證ニソナフ。往生ヲコヒ子カハントモカラタレカコノ
コ、ロサレヲヨミセサラシ。抑上人ハ。義作國久米ノ南條
稻國ノ庄ノ人ナリ。父ハ久米ノ押領使。漆ノ時國。母ハ秦
氏ナリ。子ナキコトヲナケキテ。夫婦心ヲ一ニシテ。佛神ニ祈
申ニ。秦氏夢ニ剃刀ヲノムトミテ。スナハ千懷妊ス。時國カ
云。汝カハラメルトコロ。サタメテコレ男子ニシテ。一朝ノ戒師
タルヘシト。秦氏ソノコ、ロ柔和ニシテ。身ニ苦痛ナシ。カタク

酒肉五辛ヲタテニ寶ニ歸スル心フカ、リケリ

第二段

ツ井ニ崇徳院ノ御宇。長兼二年四月七日午ノ正中ニ。秦氏ナヤムコトナクシテ。男子ヲラム。時ニアタリテ。紫雲ソビク。館ノウチ家ノ西ニモトフタニシテ。スエシケクカキ。掠ノ木アリ。白幡一流トヒキタリテ。ソノコスエニカ、シリ。鈴鐸天ニヒ、キ。文彩日ニカ、ヤク。七日ヲ經テ。天ニホリテサリヌ。見聞ノ輩奇異ノオモヒヲナサストイフコトナシ。コレヨリ彼木ヲ兩幡ノ掠ノ木トナツク。星霜カサナリテ。カタフキタフシハタレト。異香ツ子ニ薫シ。奇瑞タルコトナシ。人コレヲアカメテ。佛閣ヲタテ。誕生寺ト号シ。影堂ヲツクリテ。念佛ヲ

修せしむ。昔應神天皇御誕生ノ時。ハノ幡クタル。正見

正語等ノハ正道ニ住シタマフレルニナリトイヘリイ、上人

出胎ノ瑞コトノ儀アヒオナシ。サタメテラカキ心アルヘシ

第三段

八正道者

正見 正思惟 正語 正業 正命 正精進 正念 正定

所生ノ小兒字ヲ勢至ト号ス。竹馬ニ鞭ヲアクルヨハヒヨリ。

ソノ性カシコクシテ成人ノコトシ。ヤハモスレハ。西ノ壁ニムカ

ヒ。井ルクセアリ。天台大師童稚ノ行狀ニ。タカハスナン侍ケル

第四段

カノ時國ハ先祖ヲタツヌルニ。仁明天皇ノ御後。西三条右大臣光公ノ後。殖式部太郎源ノ年。陽明門ニシテ。蔵人兼高多敏ス。其科ニヨリテ。表作國ニ配流セラレコハ

二當國冬米ノ押領使。神戸ノ大夫。漆ノ元國カムスメニ
嫁シテ男子ヲムシム。元國男子ナカリケレハ。カノ外孫ヲ
モチテ子トシテ。ソノ跡ヲツカシムルトキ。源ノ姓ヲアラタメテ。漆
ノ盛行ト號ス。盛行カ子重俊。々々カ子國弘。々々カ子
時國ナリ。コレニヨリテ。カノ時國聊本姓ニ慢スル心アリテ。
當庄（細）ノ預所。明石ノ源内武者定明（伯耆守源長
明カ）ノ婿（男）ヲ
堀河院御在位。アナツリテ。執務ニシタカハス。面謁セサリケ
レハ。定明フカク遺恨シテ。保延七年ノ春。時國ヲ夜討シ
ス。コノ子トキニ九歳ナリ。ニケカクシテ。モノ、ヒマヨリ見給フニ。
定明庭ニアリテ。箭ヲハケテタテリケレハ。小矢ヲモチテコレヲ
イル。定明カ目ノアヒタニタチテケリ。コノ疵カクシナクテ。事ア

ラレヌヘカリケレハ。時國カ親類ノアタラ報セシ事ヲオソレ
テ。定明逐電シテ。ナメシ當庄ニイラス。ソレヨリコレヲ。小矢兒
トナツク見聞ノ諸人。感歎セストイフコトナシ

第五段

時國フカキ疵ヲカウフリテ。死門ニノソムトキ。九歳ノ小兒
ニムカヒテイハク。汝サラニ會替ノ耻ヲ思ヒ。敵人ヲララムル事
ナカレ。コレ偏ニ先世ノ宿業ナリ。モシ遺恨ヲムスハ。ソノア
タ世々ニツキカタカルヘシ。シカレハヤク俗ヲノカレ。家ヲ出テ。
我菩提ヲトフラヒ。ミツカラノ解脫ヲモトメシ。ハトイヒテ。端
坐シテ西ニムカヒ。合掌シテ佛ヲ念シ。子フルカコトクシテ。息
タエニケリ

第二卷

第一段

定明^{サダメ}逐電^{セツデン}ノノ千^チ隱居^{インキョ}ノ心^{シン}レツカニシテ。已^イ造^{ゾウ}ノ罪^{ツミ}ヲクヒ。當^{トウ}來^{ライ}ノ苦^クヲカナシメ。念佛^{ニホフ}ヲコタラスシテ。往^ウ生^{シヨウ}ノ望^{ボウ}ヲトク。其^{ソノ}子^コ孫^{ソン}ミナ上^ウ人^{ニン}ノ餘^{ヨリ}流^{リウ}ヲウケ。淨^{ジヨウ}土^トノ一^{イツ}行^{ギョウ}ヲム子^コトセリ。小^コ兒^ニタ、人^{ニン}ニアラス。豈^{イニ}怨^{オン}敵^{テキ}ヲラムル心^{シン}アラシヤ。定^{サダメ}明^{メイ}疵^ヒヲカウフルニヨリテ。跡^{アト}ヲカクシ。往^ウ生^{シヨウ}ヲトケ。子^コ孫^{ソン}又^{マタ}淨^{ジヨウ}土^ト門^{モン}ニ入^イル。權^{ケン}化^カノ善^{ゼン}巧^{コウ}ナルヘシ。迷^{メイ}情^{ジヨウ}アヘテ。アヤシミヲナスコトナカレ

第二段

當^{トウ}國^{コク}ニ菩^{ハツ}提^{テイ}寺^ジトイフ山^{サン}寺^ジアリ。カノ寺^ジノ院^{イン}主^{シュ}觀^{カン}覺^{カク}得^{トク}業^{ゲツ}

ト云^{イハ}ケルハモト延^{エン}曆^{リキ}寺^ジノ學^{ガク}徒^トナリケリ。本^{ホン}業^{ゲツ}ノ望^{ボウ}ヲ達^{タク}セサ。ルコトヲウラミテ。南^{ナン}都^トニラツリ。法^{ホフ}相^{サウ}ヲ學^{ガク}シテ。所^{ショ}存^{ゾン}ヲトクヒ。サレノ得^{トク}業^{ゲツ}ト申^{マウ}ケル。秦^{シン}氏^シカ弟^{テイ}ナリケレハ。小^コ兒^ニノ叔^{シヨク}ナルウヘ。父^フ遺^イ言^{ゴン}ノコトアリケレハ。童^{ドウ}子^シ彼^カ室^{シツ}ニイリヌ。學^{ガク}文^{ブン}ノ性^{セイ}ナカル。水^{スイ}ヨリモスミヤカニシテ。一^{イツ}ヲ聞^{クワ}テ十^{ジュウ}ヲサトルキクトコロノコト憶^{オク}持^チシテ。更^サニラスル、コトナシ

第三段

觀^{カン}覺^{カク}小^コ兒^ニノ器^キ量^{リヤウ}ヲミルニイカニモタ、人^{ニン}ニアラス。オホエケル。パイタツラニ邊^{ヘン}鄙^ヒノ塵^{チン}ニ混^{コン}セン事^ジヲレシメテ。ハヤク台^{ダイ}嶺^{リョウ}ノ雲^{ウン}ニラタランコトヲソ。支^シ度^トレケルレカルヘキ事^ジニヤアリケシ。小^コ兒^ニソノオモムキヲキ、テ舊^ク里^リニト、マルコ、ロナク。花^{ハナ}洛^{ラク}ヲ

イソク思ノミアリ。觀覺ヨロコヒニ。コノ兒ヲ相具ノ母ノ所ニ
行テゴノヨシヲカタル。兒童母儀ヲコレラヘテイハクウケカタ
キ人身ヲウケ。アヒカタキ佛教ニアフ。眼ノミヘノ無常ヲミテ
夢ノ中ノ榮耀ヲイトフヘシ。就中ニ亡父ノ遺言耳ノ底
ニト、ニリテ。心ノウチニソスレシ。ハヤク四明ヲホリテ。スマヤカ
ニ一乗ヲマナフヘシ。タ、レ母世ニイマサン。程ハ晨昏ノ禮ヲ
イタシ。水菘ノ孝ヲツトムヘシトイヘトモ。有爲ヲイトヒ。無爲
ニイルハ。眞實ノ報恩ナリトイヘリ。一旦ノ離別ヲカナレシ。
永日ノ悲歎ヲノコレ給コトナカレト。再三ナクサメ申。母
堂コトハリニオシテ。兼諾ノ詞ヲノフトイヘトモ。袖ニアマルカ
ナレミノ涙。小兒ノクロカミヲラルホス。有爲ノナラヒ。ヒノヒカ

タク。淨坐ノワカレマトヒヤスクテ。カクソオモヒツ、ケケル

カクミトテハカナキオヤノト、メテレコノ別サヘ又イカニセシ
サテシモアルヘキナラ子ハ。巖岳西塔ノ北谷。持寶房源光
カモトニツカハス。觀覺力狀ニ云。進上太聖文殊像一體
ト。コレ智慧ノスクレタル事ヲ。レメス心ナリケリ

第四段

童子十五歳。近衛院御宇。久安三年ノ春二月十三
日ニ。千重ノ霞ヲワケテ。九禁ノ雲ニイルツクリミチニシテ。法
性寺殿。干時接政ノ御出ニ。マイリアヒタテマツル。小兒馬ヨ
リオリテ。道ノ傍ニ侍ニ。御車ヲト、メラレテ。イツクノ人ノト。
御尋アリケレハ。ヲクリノ僧事ノヨシヲ申シ。アタ。御禮儀アリ

テスキサセ給^フ供奉ノ人々存外ノ思^ハヲナス。ノチニ仰^フラレケルハ。路次ニア^フ所ノ小童^ト眼^ヲヨリ光^ヲハナツ。イカニモタ、モノニア^ラサルコトヲシリヌ。ゴレニヨリテ。禮^ヲナシキトツ仰^ラレケル。月輪殿ノ御歸^キ依^ヒアサカラサリケルモ。彼^ノ物語ヲ御^リ耳ノ底^ニ下^シメラレケルユヘニヤアリケント。オホツカナシ

第三卷

第一段

童子入^リ洛^ノ後^ニツ觀^ル覺^得業^カ狀^ヲ持^テ寶^房ニ遣^ハス。源光觀^ル覺^得カ狀^ヲ披^ヒ覽^シテ。文殊ノ像^ヲタツヌルニタ、小兒ノミ上^リ洛^{セル}ヨシ。使者申^ケレハ。源光ハヤク。兒童ノ聡^明ナル事^ヲシリヌ。ヌナハチ兒ノムカヘニツカハレケレハ。同^キ十五日

ニ登山ス

第二段

獨^リ木^カケハシ^アヤウク九^ノ花^イロメツ^ラシ。持^テ寶^房ニイ^タリ給^ヒヌ。試^ミニマツ^テ四^ノ教^ヲ義^ヲサツ^クルニ。籤^ヲサ^シテ不^審ヲナス。ウタカフトコロミカ。圓宗ノフルキ論^ヲ義^ナリケリ。マコトニタ、人ニアラスト。申^アヘリケリ

第三段

コノ見^ルノ器^重トモカラニス。キテ名^譽アリシカハ。源光ワレハ。コノ見^ルノ淺^才ナリ。碩^學ニツケテ。圓宗ノ奧^義ヲキハメシメムト云^テ。久^シ安^ニ三^年四月八日。コノ見^ルヲ相^具ヌ。功德院ノ肥^後阿^闍梨^皇圓^ノモトニユキテ。入^リ室^セシム。彼^ノ皇^圓ハ

粟田ノ関白四代ノ後參河權守重兼カ嫡男少納言
資隆朝臣ノ長兄楯生ノ皇覺法橋ノ弟子當時ノ明
匠一山ノ雄才ナリ。闇梨少生ノ聰敏ナルコトヲキ、テ驚
テイハク去夜ノ夢ニ滿月室ニ入トミルイマコノ法器ニアフ
ヘキ前兆ナリケリトモ。悦申サレケル

第四段

同年十一月華髮ヲソリ。法衣ヲ著シ飛壇院ニシテ大乘
戒ヲウケ給ニケリ

第五段

アル時ステニ出家ノ本意ヲトケ侍リ又イニヲキテハ跡ヲ林
藪ニノカレントオモフヨシ師範ノ闇梨ニ申サレケレハタトヒ

隱遁ノ志アリトモ。マツ六十卷ヨミテノチツノ本意ヲ遂ヘ
キヨシ闇梨イサメ給ケレハワシ閑居ヲ子カフ事ハナカク名
利ノ望ヲホメテ。リツカニ佛法ヲ修學センタメナリ。コノ仰マ
コトニシカナリトテ生年十六歳ノ春始テ本書ヲヒラク。
三箇年ヲヘテニ大部ヲワタリ給ヌ

第六段

慧解天然ニシテ秀逸ノキコエアリ。四教五時ノ發立鏡
ヲカケニ觀一心ノ妙理玉ヲミカク。所立ノ義勢殆ト師
ノヲレヘニコエタリ。闇梨イヨイヨ感歎シテ學道ヲツトメ。太
業ヲトケテ圓宗ノ棟梁トナリタマヘト。ヨリヨリコレヲハ申
サレケレトモ更ニ兼諾ノ詞ナレ。ナヲコレ名利ノ學業ナル

事ヲイトヒ。タチマキニ師席ヲ辭シテ。久安六年九月十二日。生年十八歳ニシテ。西塔黒谷ノ慈眼房叡空ノ廬ニイタリヌ。幼稚ノ昔ヨリ成人ノ今ニ至マテ。父ノ遺言ヲスレカタクシテ。トコシナヘニ隱遁ノ心。フカキヨシヲノヘ給ニ。少年ニシテハヤク出離ノ心ヲオコセリ。マコトニコシ法然道理ノヒレリナリト隨喜メ。法然房ト号シ。實名ハ源光ノ上ノ字ト。叡空ノ下ノ字ヲトリテ。源空トソツケラレケル。カノ叡空上人ハ。大原ノ良忍上人ノ附屬。圓頓戒相兼ノ正統ナリ。偷伽秘密ノ法ニアキラカニシテ。一山コシヲユル。四海コレヲタウトヒケリ

第四卷

第一段

上人黒谷ニ蟄居ノ後。八備ニ名利ヲステ。一向ニ出要ヲモトムル心切ナリ。コレヨリテイッレノ道ヨリカ。コノタヒタシカニ。生死ヲハナルヘキトイフコトヲ。アキラメシタメニ。一切經ヲ披闡スルコト數遍ニヲヨヒ。自他宗ノ章疏。眼ニアテストイフコトナシ。慧解天然ニシテ。ソノ義理ヲ通達ス。アルトキ天台智者ノ本意ヲサクリ。圓頓一實ノ戒体ヲ談シ給ニ。慈眼房ハ心ヲモテ。戒体トストイヒ。上人ハ性無作ノ假色ヲモテ。戒体トストタテマス。立破再三ニヲヨヒ。問答多時ヲウツストキ。慈眼房腹立シテ。木枕ヲモテウタレケレハ。上人師ノ前ヲタハレニケリ。慈眼房思惟スルコト數尅ノ後。上

人ノ部屋ニ來臨シテ御房ノ申サル、首ハヤ天台大師ノ本意。一實圓戒ノ至極ナリケリトソ申サレケル。佛法ニ私ナキコト。アハレニハニヘリ。カ、リケレハ上人ヲモテ軌範トシテ師カヘリテ弟子トナリ給ニケリ

第二段

保元々々年上人二十四ノ歳。叡空上人ニイトマコヒテ。嗟峨ノ清涼寺ニ七日參籠ノコトアリキ。求法ノ一事ヲ祈請ノタメナリケリ。コノ寺ノ本尊釋迦善逝ハ西天ノ雲ヲイテ東夏ノ霞ヲワケテ三國ニツタハリタメヘル靈像ナシ。トリウキ懇志ヲハコヒ給ヒケルモ。ゴトハリニソオホエ侍ル

第三段

上人ソノ性俊ニシテ。大卷ノ文ナレトモ。三遍コレヲ見給ニ。文クラカラス義アキラカナリ。諸教ノ義理ヲアキラメ。八宗ノ大意ヲツカ、ヒエテカノ宗々ノ先達ニアヒテソノ自解ヲ給ニ。面々ニ印可シ。各々ニ稱義セストイフコトナシ。清涼寺ノ參籠七日滿シケレハソレヨリ南都ヘクタリ。法相宗ノ碩學藏俊僧都正。僧ノ房ニイタリテ。修行者ノサマニテ。對面シ申サント申サレタリケリ。大床ニオハシケルヲ。僧都イカ、オモハレケシ。アカリ障子ヲアケテウチヘ請シイレタテ。ツリテ對面シ。法談トキヲウツサレケリ。宗義ニツキテ不審ヲアケラレケルニ。僧都返答ニヲヨハサル事トモアリケリ。上人コ、ロミニ獨學ノ推義ヲヘ給ケレハ。僧都感歎シテイ

ハク。貴房ハタ、人ニアラス。オソラクハ太權ノ化現歟。昔ノ論
 主ニアヒタテマツルトモ。コレハスクヘカラスト。オホユルホトナリ。
 智慧深遠ナルコト。言語道断ナリトテ。一字ヲタテマツリ。一
 期ノアヒタ。毎年ニ供養ヲノフルコト。ヲコタリナカリケルトナシ
 第四段 八不中道者 不生亦不生 不來亦不來 亦不異
 醍醐ニ三論宗ノ先達アリ。權律師寛雅コレナリ。カレコニ
 ユキテ。所存ヲノヘ給ニ。律師スヘテモノイハス。ウチニタチイリ
 テ。文櫃十餘合ヲトリイタシテ。予カ法門附屬スルニ人ナ
 シ。オミスステニコノ法門ニ達シ給ヘリ。コトコトク秘書ヲ附屬
 レタテマツルトテコレヲ進ス。稱羨讚嘆ノコトハ。カタハライタキ
 程ナリ。進士入道阿性房等御共シテ。コノ事ヲ見聞シテ。

奇特ノオモヒヲナシナリ

第五段

華嚴十住心 一 異生羶羊心 二 愚童
 持齋心 三 嬰童無畏心 四 唯蘊無我心 五 拔業
 同種心 六 他緣大乘心 七 覺心不生心 八 一道
 無為心 九 極無自性心 十 秘密莊嚴心

仁和寺ニ華嚴宗ノ名匠アリ。大納言法橋慶雅ト号ス。
 仁和寺ノ岡トイフ所ニ居住セルユヘニ。岡ノ法橋トソ申
 ケル。醍醐ニモカヨヒケルニヤ。醍醐ノ法橋トモイヘリ。カノ法
 橋ハ上人ノ弟子阿性房ノレリウ人ナリケレハ。上人華嚴
 宗ノ不審ヲタツ子トハレシタメニ。阿性房ヲアヒ具シテ。カ
 ヒタマヘルニ。法橋マツ左右ナク申イタス様ハ。弘法大師ノ

十住心ハ華嚴宗ニヨリテツクリ給ヘリ。ゴノ旨ヲ御室ニ申
 トコロニ與アルコトナリ。バヤク勘申ヘキヨシ。オホセラカウフル
 アヒタ。ゴノホトカンカヘ侍ナリト申トキ。初對面ナレハサテモ
 アルヘケレトモ。學問ノナラヒハ。黙止シカタク。オモハレケルニヨ
 リテ。上人ノ給ケルハナニシニカハ。華嚴宗ニハヨリ侍ヘキ。太
 日經ノ住心品ノ心ヲモテソクラレタルニテソ侍シ。第六
 ノ他縁大乘心ハ法相宗ノ意ナリ。第七ノ覺心不生心
 ハ三論宗ナリ。第八ノ一道無爲心ハ天台宗ナリ。第九ノ
 極無自性心ハ華嚴宗ナリ。第十ノ秘密莊嚴心ハ真言宗
 ナリト云ハシメ異生粗羊心ヨリヲハリ秘密莊嚴心マテヲノ
 ヲノ偈ヲ誦シテ。一々ニソノ道理ヲ尺シ述給テ。淺深ヲタテ

勝劣ヲ判スルコトハ。諸宗ヲノヲノ難ヲクハヘ。不受シ申ナ
 リ。天台宗ニ難申様ナト。久ハシク尺シノヘラシ。又華嚴宗ノ
 自解ノ様ヲ。ゴ一カニ申ノヘ給ニ。法橋コレヲキハテ。阿性房
 ノ縁ニハシヘルヲヨヒテ。コレハキハタニフカコレカヤウニコ、ロエ
 テニ。往生シ損シテ。ヤト感嘆シテ。ワレコノ宗ヲ相兼スト
 イヘトモ。カクノコトク分明トラス。上人自解ノ法門ヲキクニ。
 下愚。魁々ノ不審ヲヒラク。他宗推度ノ智慧。自宗相傳
 ノ義理ニゴエタマヘリトテ。隨喜感歎ハナハタシ。カクノコトク
 シテ。タカヒニ法談數尅ノ後。ゴノ宗ノ血脉ニイリ侍ハヤト
 上人ノタマヘハ。慶雅カウエニヤト。法橋申サル、間イカ、サ
 ルコトハ侍ヘキ。華嚴宗ヲハ。ゴトサラ傳受シタテツラント。存

スルナリト申サレケレハ。血脉ナラヒニ華嚴宗ノ書籍少々
 ワタシタテ、ツリヌサテカノ法橋寂後ニハ。上人ヲ召請シテ
 戒ヲウケテ二字ヲタテマツル。戒ノ布施ニハ。圓宗文類トイフ
 餘卷ノ丈ヲトリイタシテ。慶雅ハコノホカハモチタルモノハニヘ
 ラス。上人モコトモノヲハ。ナニ、カハセサセ給ヘキトテ。黒谷ヘソ
 送進シケル。上人ノタマヒケルハヨキ學生ニナリヌシハカクノ
 コトク。歸スヘキコトニハ歸スルナリ。ゴノ法橋ハ華嚴宗ニトリ
 テハヨキ名匠ナリ。弁曉法印モ慶雅法橋ノ弟子ナリトソ
 オホセラレケル

第六段

上人諸宗ニ通達シタマヘルコト。人口アミ子キウヘ。慶雅

法橋御室ノ御前ニテ。自門他門オホクノ學生ニアヒ侍ツ
 レトモ。ゴノ上人加様ニモノ申僧コソ侍ラ子ト。稱羨シ申ケ
 ルヲ。キコレメサシテ。御室ヨリ上人ヲ召請セラレ。天台宗ヲ
 學セラルヘキヨシ。オホセラレケレハ。天台宗ハ昔ハカタノコトク。
 傳受シ侍シカトモ。今ハ但念佛ニナリテ。天台宗ハ廢忘シ
 侍ラヘ。山門ニ澄憲。三井ニ道顯ナト。申名匠々千ハニヘ
 リ。カノ人々ニメシトハルヘキカ。ヲノツカラカヘリキ、侍ラシモ。
 ツノハ、カリ侍ヨシヲ。申給シカハ。ミナウケタマハリヲキタルコト
 ナリ。色題ソノ詮侍ラストテ。カサ子テシキリニ。仰ラシケレトモ。
 ナヲカタク辞退シ申給ヘハ。サラハ念佛ノコトヲ學セラルヘ
 シ。ソノツイテニ少々談義侍ヘシナト。オホセラレケレトモ。自

然ニ延引^{トシ}シテ。日月ヲヲクラレケルニ。後白河ノ法皇^{ホウワカノホウ}寂後^{サイゴ}ノ御時^{ミトキ}。上人御善知識^{ミツシ}ニメサシテ。マイリ給ケルトキ。御室^{ミムロ}モ御叅會^{ミツミ}アリケルニ。ソノコトオホセラレイタシテ。コノアヒタ住京^{キョウ}ノツイテニ。素懷^{ソウケ}ヲトケハヤイカ、侍ヘキト。仰ラレケレハ。加^カ様^{ヤマ}ノオリフシハ。物忽^{モノトウ}ニモ侍リ。マタキトメサル、コトモ侍ラシ時。中間^{ウチマ}ニモノ申サシ。侍ラシコトモアシク侍レハ。ヒツカニ叅上仕^シヘシトテ。ソノツイテモムナシクヤミニキ。其後イク程ナクテ。御室^{ミムロ}モウセサセ給ニシカハ。ツ井^{ツヅ}ノ節^ノヲトケラレストイヘトモ。懇切^{コンケツ}ノ御志^{ミシ}ヲツクサシモ。上人^{ウジン}諸宗^{シヨウ}ニ達^{トウ}シタマヘルコヘナリキ

第五卷

第一段

上人ノタマハク。學問^{ガクモン}ハハシメテ見タツルハギハメテ大事也。師ノ説^{セツ}ヲ傳習^{デンシユ}ハヤスキナリ。シカルニ我ハ諸宗^{シヨウ}ニミナミツカラ章^{シヤウ}疏^シヲ見テ心エタリ。戒律^{ケイツ}ニモ中ノ川ノ少將ノ上人。偷蘭^{トウラン}双^{シュウ}トイフ。各自^{各自}ハカリソキ、ツタヘタル。サラテハミナ見イタシタルナリ。法相宗^{ホウサウシユ}モ蔵俊^{サウシユン}ニアフトイヘトモ。法相^{ホウサウ}ヲ學^{ガク}セス。カノ人ハ、カリヲナシテラヘス。各自^{各自}ヒトツソ。キ、トリタル。故慈眼^{コジガン}房^{ホウ}モ分明^{メイメイ}ナラス。小乘^{セウジヤウ}戒^ケノ事^シハ。非學^{ヒガク}生^{シユ}ナル。ワツカニ理觀^{リカン}ハカリナリ。普通^{フツブ}ニヨキ學生^{シユシユ}トイフモ。大乘^{ダイジヤウ}ノ戒律^{ケイツ}ニヲキテ。予^ヨカコトク沙汰^{サタ}シタルモノハ。スナキナリ。當世^{トウジ}ニヒロク書^{シヤ}ヲ披見^{ヒケン}シタルコトハ。タシモオホエス。書^{シヤ}ヲミルニ。コレハソノ事^シヲ詮^{セン}

ニ。イフヨトミルコトノアリカタキ事ニテ侍ヲシテ書ヲトリテ
 一見ヲクフルニソノコトヲ尺シタル書ヨナトミル。徳ノ侍ナ
 リ。詮ハミツ篇自ヲミテ。大意ヲトルナリト。又ノタマハク自他
 宗ノ學者宗々所立ノ義ヲ各別ニ心エスシテ。自宗ノ義
 ニ違スルヲハミナヒカコト、心エタルハイヒナキコトナリ。宗々
 ミナヲノヲノタツルトコロノ法門。各別ニ立ラハ。諸宗ノ法
 門一同ナルヘカラス。ミナ自宗ノ義ニ違スヘキ条ハ勿論ナ
 リトゾ。オホセラレケル

第二段

建仁二年九月十九日談義ノトキ。上人語テ多ハク弘法太
 師ノ十住心論ハ。義尺ニヨリテツクリ給ヘルニ。義尺ニ違スルコト

オホシカノ義尺ハ善無畏。三蔵ノ説ヲ。一行阿闍梨記セラレ
 タルナル。一行ハイトマナキ人ニテ。未再治ニテヤミニレヲ。千ニ再
 治ノ本多。其中ニ弘法大師再治本ナル。義尺ニハ極無自
 性心ニ華嚴般若等ノ不思議ノ境界ヲ接ストコソアル
 ヲ。弘法大師ノ再治ノ本ニハ。般若ヲハステ。タ、華嚴ヲ
 接ストカ、レタリ。又十住心ニ華嚴宗ソト尺セラレタリ
 十住心トイフハ。異生羴羊心。愚童持齋心。嬰童無畏
 心。唯蘊無我心。拔業因種心。他縁大乘心。覺心不生
 心。一道無爲心。極無自性心。秘密莊嚴心ナリ。始ノ異
 生羴羊心ハ。三惡道ナリ。コノ中ニ脩羅ヲ接ス。第二ハ人
 道ナリ。コノ十カニ。モロモロノ儒教ノ仁義禮智信等ヲ接ス

ルナリ第三八天道ナリコレニ老莊ノ教ヲ接ス第六八法
 相宗第七八三論宗第八八天台宗第九八華嚴宗第
 十ハ真言宗ナリハレメノ一ツノソキテ餘ノ九種ノ住心ニ
 ハ外典内典ノ種々ノ諸教ニナソノナカニ接セリレカハ
 弘法大師ノ御心ニヨラハ内外ノ典籍ニナコレヲ學スヘキ
 欵コレニヨリテ御室モ多聞廣學ヲコノミ御沙汰アル欵
 トオホユルナリタレシコノ十住心論ノ義ニ大ナル難アリ義
 釋ニ令ルヒハタレ經ヲ接ストイヒ或ハタレ論ヲ接ストモイ
 ヘルヲ一宗ニトリナシテ華嚴宗ニ接ス法華宗ニ接スナト
 ヒキナサレタルハヒカコトオホユルナリモレソノ宗ニ接シテ勝
 劣ヲ判セハタカヒニ是非アリソノ宗論ニヲキテハムカレヨリ

イマタコトキレサルモノナリ法華宗ハ華嚴宗ヨリモアサレト
 イハステニ法華宗ノ心ニ違セリイカテカヲシテ天台宗トハ
 イフヘキ華嚴宗ノ心ハカリニテコソハアラヌ宗々タカヒニ淺
 深ヲアラソスヨソニテタレカ定判セオホヨソ一宗ノナラヒ
 一代聖教ニヲキテ淺深ヲ判スツ子ノコトナリレカレハ一
 切經ハオナシク釋迦一佛ノ所説ナレトモ宗々ノ所學ニ
 レタカヒテ淺深勝劣不同ナレイツレノ宗ノ一切經トイ
 フヘシ天台宗ノ一切經アリ華嚴宗ノ一切經アリ乃至
 法相三論ニモヲノヲノ一切經アルヘシ天台宗ノ一切經
 ノナカニハ法華ヲスクレタリトスルカユヘニ爾前ノ諸經ニ相
 對シテ十勝ヲ立タリ華嚴宗ノ一切經ニハ華嚴ヲモキテ

スクレタリトス。三論ニハ諸大乘經顯道無異トハイヘトモ。
般若ヲ以テ至極トス。法相ニハ解深密經ヲモテモ眞實ト
ス。カクノコトクヲクヲノ所解不同ナルヲサヘテ宗々ヲナ
住心ニアテハ。淺深ヲサタメラル、条ゾノイヒナキコトナリ。諸
宗ノナラヒタ、經ハカリヲコソ。淺深ヲモ勝劣ヲモ立タルコ
トニアレハハシヤ善無畏ノ義釋ハステニ經ハカリニ約セリ。
又義釋ニハ華嚴般若種々不思議ノ境界ヲ接ストイ
ヘルヲ十住心論ニハ唯華嚴ニカキリアヤマリテソノ宗マテ
ヲ接レテ般若ヲハ覺心不生心ニ接スルコト。又モチテ違
セリ。カクノコトキノ義ヲモチテヒソカニ難勢ヲクハヘタテツル
ホトニイハニ二十餘年ニモヤナリヌラン。源平ノ亂ヨリサキ。

嗟哉ニ住レタリレコロ。夢ニミルヤウ。請用シテ他行シタリケ
ルソノアトニ弘法大師ヨリキトマイラセタマヘトテ。御使ノ
候ツルト云ヲキ、テ心ニオモフ様。内々難シ申コトノキコ
エタルヨナトオモヘトモ。サアラシニツケテモト存シテス十八千太
師ノ所へ參ス。五間ハカリ九家ノ板敷モナク。ベタテモナク
テタ、内ニヨホウニヌリメクラレタル壁ノクチモナキノミアリ。
大師ハコノウチニオハシメストオホユマツ外トニテハツクロヒラレタレ
ハツノ壁ノウチヨリコナタヘト。仰セラレ、聲アリ。ソノ御聲ニツキテ
ハテ壁ノウチヲミレハ。サラニソノ戸ナレカヘノクツシタルコロニア
リ。其多シヨリク、リ入レハ。大師壁ノキハニオハシマレテス十八
千胸ヲアハセテイタキアス。大師ノ御顔ハ予カ左ノ肩ニヲキ

給。ガクテ前々難破スルコトモヲ。一々ニ會尺せしめたま
フ。コレヲキゲトモナラ。驚動せすゾレハト申テカサ子テソノ義ヲ
難シタテ、ツラントスルト。オホシクテ夢サメヌ。ノチニコレヲ案
スルニ難シ申義ミナ。大師ノ御心ニアヒカチヘルカピレトイ
タキアヒタテ、ツリタルコトハ。御意ニカナヒタルカ。ミユルナルヘ
シケニモヨク難セラレタリト。オホシメセハコソ。夢ニモサマサマニ
會尺シ給ツラヌ。凡ハ後學ハ畏ヘレト云テ。學生ハカナラス
シモ。先達ナレハト。イフコトハナキナリ。カノ如來滅後五百年
ニ。五百ノ羅漢アツマリテ。婆娑論ヲツクリシニ。九百年ニ
世親イテ。俱舍論ヲツクリテ。サキノ義ヲ破シ給キ。義ノ
是非ヲ論センコトハ。アナカチニ。上古ニモオソルマレキモノソト

ノオホセラレケル

第三段

上人ハモト天台ノ真言ヲナラヒ給ヘリ。シカルヲ中河ノ阿
闍梨實範フカク上人ノ法器ヲ感シテ。許可灌頂ヲサツ
大宗ノ大事ノコリナクコレヲツタフ。カノ實範ハ東寺ノ流
中院ノ阿闍梨教真灌頂ノ弟子ガ子テ勸修寺ノ僧正
範俊ヲ師トス。タ、事相教相ニ達スルノミナラス。他宗ノ法
門マタクカラサリケリ。シカルニ上人ヲ歸依ノアマリ。後ニハ
二字ヲタテマツリ。監真和尚相傳ノ戒ヲウタ上人ハ圓
頓ノ戒法ヲ宗トシ給ヘリキ。シカルニ圓戒ヲサシキテ。カノ
相傳ノ戒ヲウケラレケル。サタメテフカキ心侍ケンカシ

第四段

上人智慧第一ノホマレ千々多聞廣學ノキコエ世
ニアマ子レオホヨソ我朝ニワタレル聖教傳記眼ニアニス
イフコトナレシカレハ本國ノ明師觀覺モ一字ヲタテマツル
黒谷ノ尊師徹空モ軌範トシ給キタ、教内ノ宗旨ニ達
スルノミニアラス又教外ノ佛心ヲギロヲサクル宗門ハ先
達ナキユヘニコレラ決セストツ子ニテ給ケルトナニ圓頓戒談
義ノトキ成覺房幸西尋テイハクコノ戒ハ諸法ノ至極ヲ
以戒体ト然ニ山王院ノ師大師云諸法ノ至極ヲ禪トストノ
給ヘリモレシカラハ禪門トコノ戒體ト合スヤイナヤト上人
決レ給ハタコレハ教内ノ理法ナリカレハ脱心ノ教外也ナニ

ヲモテカ合ストセシ得禪ノ人コノ戒ヲトカバイヨヨ正理ニ叶
ヘシ禪人教ヲトケハ教文禪ニシタカフ教人禪ヲトケハ禪
明教ニシタカフ凡ソ真言正觀ヲモテ禪ヲ推スヘキニアラ
スイハンヤ法相三論ヲヤイカニイハンヤ自餘ノ小乗ノ宗ヲ
ヤトサラニコレ教者ノ詞ニアラスニコトニ繩ミシカクシテハ深泉
ニイタリカタク翅ヨハクシテハ太虚ニカケルコトナレ智アサク心
ツタナクシテ宗門ニ達スルコトアラシヤサレハ禪ノ宗旨ヨリ論
セラシタル上人自筆ノ書イマニアリ末學ウタカフコトナカレ

第五段

或時上人月輪殿ニシテ山僧ト衆會ノ事侍シニ彼僧
浄土宗ヲ立給ナルハイツレノ文ニヨリテ立給ソヤトタツヌ

ルトキ善導ノ觀經疏ノ附屬ノ文ナリト答給ニ重テイハク
宗義ヲタツル程ノコトニナシツタ、一文ニヨルヘキヤト上
人微笑シテ物モノ給ハサリケリカノ僧山ニ歸テノ寶地
房ノ法印證真ニコノコトヲ語テ法然房スヘテ返答ニヲ
ヨハスト申ケルヲ法印申サレケルハ不足言ニ處スルユヘナリ
カノ上人ハ天台宗ノ達者タルヲヘアニサヘ諸宗ニワタリテ
アマ子多コレヲ習學シテ智慧深遠尤事ツ子ノ人ニコエタ
リ返答カナハスシテモノイハストオモフ僻見サラニオコスヘカ
ラストノ申サレケルカノ法印ハツ子ニ上人ニ親近シテ法門
ヲ談セシユヘニ智慧ノ分際ヲ知テ申サレケルニコソコトニ
戒ノ法門ハ上人ニ相兼ノ人ナリカノ法印堅義ノ時ハ

慧光房ノ永弁法印ヲ師トセラレケルニ元品ノ無明ハ妙
覺智斷ニ感ハ同時斷ノ義ヲ立ヘキヨレサツケ給ケルニ證
真ハ一代聖教ヲ見ニニ感ハ異時斷元品ノ能治ハ等覺
智也此旨ヲ立ヘキヨレ申サレケルハツノ心ナルヘシト永弁
法印ユルサレケルユヘニ等覺智斷ノ義ヲ立ス澄憲法印
題者ニテシラヘ給ケルニ堅者五千餘卷ノ經卷ヲヒラキ
タルニイマタ妙覺智斷ノ文ヲミスト立スルニ見聞ノ大衆
同音ニ博覽ヲ感スル聲甚シクノ時澄憲法印堅者ステ
ニ智劔ヲフルス題者アニワヒカヲヌカサランヤトトフ各句
ヲ申サレケリ弱年ノ昔猶カクノコトシ現ヤ積學ノ後ヲヤ
一切經ヲ披覽スルコト五遍ナリシカレトモ慧心院ノ僧

都ノ高覽ニ同セシコトヲ憚テ三遍ノヨレヲ披露セラレテ
ルトカヤ晝夜ニ地藏菩薩ニ物語レ又オホツカナキコトア
レハ中堂ニイリテ藥師佛ニ尋タテマツリ十禪師ニ詣
テ尋申ニ必ス授ラレケリ常ノコトハニハ我師ハトヲクハ太
聖世尊チカク八天台妙樂トテ未師ヲハモチ井ラレサリケリ
往生傳ヲツクリテ我身ヲカキイレラレケルトカヤ時ノ人地
蔵ノ化身トソ申ケルシカルニ彼法印上人ヲ智慧深遠ノ
人ナリト申サレケルハ本地ノ智慧トイヒ垂迹ノ廣才トイ
ヒタカヒニ知タマヘルユヘナルヘシ餘人ノ稱羨ヨリモ氣味
アリテソオホエ侍ル

第六段

上人ノ老後ニ竹林房ノ靜嚴法印ノ弟子キタリテ堅
義ノ才學ニツナヘシタメニ天台宗ノ法門ヲタツ子申ケルニ
クハシク深奥ヲサツケラレニケリカノ人ノチニ申ケルハ老耄
ノウヘ念佛ニヒマナクシテ聖教ヲミサルヨレハ申サレシカト
モ文理ノアキラカナルコト當時ノ勤學ニコエタマヘリタハ
人ニアラストソノコロ山門ニ碩學ハヤレヲナレキレカルニ數
輩ノ明匠ヲサレヲキテ隱遁ノ上人ニ宗ノ大事ヲタツ子
申ケルソノ達シ給ヘルホトモアラハレテソオホエ侍ル上人カ
タリテノタマハクワレ聖教ヲ見サル日ナレ木曾ノ冠者花
洛ニ亂入ノトキタハ一日聖教ヲ見サリキト後ニハ念佛
ノイトマヲ惜テ稱名ノ外ハ他事ナカリケリ後學ヨロシクソ

ノアトヲニチフヘキニヤ

傳繪詞卷一終

黒谷上人繪詞第二目錄

六卷

一切經披覽之後淨土宗入給事

上人與慈眼房念佛法談事

上人吉水御房移住事

知恩院御廟事 上人淨土義立給事

俊乘房五祖渡唐事

曇鸞道綽善導懷感 小康

法華三昧普賢來現事

華嚴披講時小蛇出現事

上西門院說戒時小蛇出現事

上人觀念床瑞相現事

七卷



八卷

夢中善道和尚來現事

上人三昧發得事

勢至菩薩來現事 彌陀三尊虛空現事

靈山寺三七日別時念佛事

月輪殿於上人頭光現事

念珠瑞光事 鏡御影事

諸人感夢事

後白河院如法經事

高倉院下乘圓戒傳受事

同院御終焉知識事

八坂引道寺別時念佛事

九卷

十卷

蓮華王院如法三部經書寫事
後鳥羽院圓戒傳受事

黒谷上人傳繪詞第六卷

第一段

上人キリシタ聖道キリシタ諸宗シラノ教門ケツモンヲアキラカナリシカハホ法相ホフサウ三論サンロンノ
 碩德シヤクタク面々メンメンニソノ義解ギゲヲ感カシトモ天台タイダイ華嚴ケゲンノ明メイ匠シヤウ一々イチイチニ
 カノ宏才コウサイヲホムシカレトモナヲ出離シュツリノ道ミチニワツラヒテ身心シンシン
 ヤスカラス順次ジ解脫ゲダツノ要路ヨウロヲシランタメニ一切經キヤウヲヒラ
 キミタマフコト五遍ゴヘンナリ一代ダイノ教迹ケウジツニツキテツラツラ思惟シ
 シタマフニ彼モカタク此モカタク而ニ慧心ヱシンノ往生ウシヤウ要集ヨウシツ專
 ラ善導ゼンドウ和尚ウシヤウノ釋義シヤクギヲモテ指南シヤントセリコレニツキテヒラキ
 見給ミタマヒニカノ釋シヤクニハ亂想ランサウノ凡夫ボウフ稱名シヤウメイノ行ユキニヨリテ順次ジニ
 淨土ジヤウツニ生スヘキム子シヲ判ハシテ凡夫ボウフノ出離シュツリヲタヤススメ

ラレタリ。截經彼覽ノタビニ。コレヲウカ、フトイヘトモ。トリワ
キ見給コト三遍。井ニ一心專念彌陀名號行住坐卧
不問時節久近念々不捨者是名正定之業。順彼佛
願故ノ文ニイタリテ。末世ノ凡夫。彌陀ノ名號ヲ稱セカ
ノ佛ノ願ニ乗シテ。タシカニ往生ヲウベカリケリトイフ。コトハ
リ。オモヒサタメ給ヌ。コレニヨリテ。兼安五年春。生年四十
三。タチトコロニ。餘行ヲステテ。一向ニ念佛ニ歸シ玉ヘリ

第二段

アル時上人往生ノ業ニ。稱名ニスキタル行アルヘカラスト
申サル。ヲ。慈眼房ハ觀佛スシタルヨシヲ。ノ給ケレハ。稱名
ハ本願ノ行ナユヘニ。サルヘキヨシヲタテ申タラニ。慈眼房

又先師良忍上人モ。觀佛スシタリトコロ。オホセラレシカ
ト。給ケルニ。上人。良忍上人モ。サキニコソムニ。給タレト。申
サシケルトキ。慈眼房腹立シタマヒケレハ。善導和尚モ。上來
雖說定散兩門之益。望佛本願意在衆生一向專稱
彌陀佛名ト。釋シタマヘリ。稱名スシタリトイフコト。アキラ
カナリ。聖教ヲハ。ヨクヨク御覽シ給ハテトモ。申サシケル

第三段

上ハ一向專修ノ身トナリ給ニシカハ。ツ井ニ。四明ノ巖洞
ヲイテ。西山ノ廣谷トイフトコロニ。居ラシメ給キ。イクホト
ナシテ。東山吉水ノホトリニ。シツカナル地アリケルニ。カノ廣
谷ノイホリヲ。ワタシテ。ウツリスミ給。タツ子イタルモノアリハ。淨

土ノ法ヲノヘ念佛ノ行ヲス、メラル。化導日ニシタガヒテ、井
カリニ念佛ニ歸スルモノ。雲霞ノコトシツノチ。賀茂ノ河原
屋。小松殿。勝尾寺。大谷ナト。ソノ居アラタマルトイヘトモ。勸
化ヲコタルコトナレツ。井。ホマレ。一朝ニミチ。益四海ニアマ子
シ。コシ彌陀ノ一教。ワガクニ。縁フカク。念佛ノ勝行。末法
ニ相應スルユヘナルヘシ。大谷ハ上人。伴生ノ地ナリ。カノ跡イ
マニアリ。東西三丈餘。南北十丈ハカリ。コノウチニタテラシ
ケン。坊舎イクホトノカマヘニカアラントミエタリ。ソノ節儉ノホ
トモ。オモヒヤラレテ。アハレニ。タトクソ侍ル。イマノ御影堂ノ跡
コレナリ

第四段

或時上人。オホセラシテイハク。出離ノ志。フカ、リシアヒタ。諸
ノ教法ヲ信シテ。諸ノ行業ヲ修ス。オホヨソ。佛教オホシトイ
ヘトモ。所詮戒定慧ノ三學ヲハス。キス。所謂小乗ノ戒定
慧。大乘ノ戒定慧。顯教ノ戒定慧。密教ノ戒定慧ナリ。レ
カルニ。ワカコノ身ハ。戒行ニツイテ。一戒ヲモ。タモタス。禪定ニ
ツイテ。一モコレヲエス。人師釋シテ。尸羅清淨ナラサシハ。三
昧現前セストイヘリ。又九夫ノ心ハ。物ニシタカヒテ。ウツリヤ
スレタトヘハ。猿猴ノ枝ニツタフカコトシ。モコトニ。散亂シテ。動
レヤスタ。一心レツマリカタシ。無漏ノ正智ナニ、ヨリテカ。オコ
ランヤ。モシ無漏ノ智。劔ナクハ。イカテカ。惡業煩惱ノキツナラ
タ、ンヤ。惡業煩惱ノキツナラタ、スハ。ナニソ生死繫縛ノ

身ヲ解脱スルコトヲエンヤ。カナレキカナ。カナレキカナ。イカ、セシ
 イカ、セシ。コ、ニ我等コトキハステニ。戒定慧ノ三學ノラツハ
 モノニアラス。ニ學ノホカニ。我心ニ相應スル法門アリヤ。我
 身ニ堪タル修行ヤアルト。ヨロツノ智者ニモトメ。諸ノ學者
 ニ。トフラヒシニラシフルニ人モナク。レメスニ輩モナシ。然間ナゲ
 キナケキ。經藏ニイリ。カナレミカナレシ。聖教ニムカヒテ。手ツカ
 ラミツカラ。ヒラキミシニ。善導和尚ノ觀經ノ疏ノ一心專念
 彌陀名號行住坐卧不問時節及辺念々不捨者是
 名正定之業順彼佛願故ト。イフ文ヲ見得テノキ。我等
 カコトクノ無智ノ身ハ。偏ニコノ文ヲ。アフキ。專ラコノコトハリ
 ヲタノミテ。念々不捨ノ稱名ヲ修シテ。決定往生ノ業因

ニ。備ヘシダ、善導ノ遺教ヲ。信スルノミニアラス。又アツク。彌陀
 ノ弘誓ニ順セリ。順彼佛願故ノ文フカク。魂ヲミ心ニト、
 メタルナリ。慧心ノ先德ノ往生要集ヲ。ヒラクニ。往生之業、
 念佛爲本トイヒ。又カノ人ノ妙行業記ノ文ニモ。往生之
 業念佛爲先トイヘリ。覺超僧都慧心ノ僧都ニ問テノ給
 ハク。所行ノ念佛ハ。何事ヲ行ストヤセシ。コレ理ヲ行ストヤ
 セシ。慧心ノ僧都コタヘテノ給ハク。コ、口萬境ニサヘキル。コ、
 ラモテ。我々、稱名ヲ行スルナリ。往生ノ業ニハ稱名モトモタ
 シリ。コレニヨリテ。一生中ノ念佛。ソノ數ヲ勘タルニ。二十俱
 胝遍ナリトノ給ヘリ。然則源空ハ大唐ノ善導和尚ノヲシ
 ヘニシタカヒ。本朝ノ慧心ノ先德ノス、メニカセテ。稱名念

佛ノツトメ。長日六萬遍ナリ。死期ヤウヤク。千カツクニヨリ
テ又一萬遍ヲクハヘテ。長日七萬遍ノ行者ナリトゾ。オホ
セラレナル

第五段

上人ノ念佛七萬遍ニテサシテ。ノ千ハ晝夜ニ。餘事ヲシヘ
ラレサリケリ。サレハツノ、千人ノイリテ。法門ヲ多ツ子申ケル
ニハ。キ、タ、フカト。オホシクテハ。念佛ノコエ。スコレヒキクナリ
給フハカリニテゾ。アリケル。一向念佛ヲサシヨキ給フコト。ナカ
リケルトナシ

第六段

上人或時カタリテ。ノタマハクワシ。浄土宗ヲタツル心ハ。凡

夫ノ報土ニ。ムル、コトヲ。シメサンタメナリ。モシ天台ニヨシ
ハ。凡夫浄土ニ。ムル、コトヲ。ユルスニ。似タレトモ。浄土ヲ判ズ
ル事アサシ。モシ法相ニヨシハ。浄土ヲ判スル事。フカレトイヘト
モ。凡夫ノ往生ヲユルサス。諸宗ノ所談。コトナリトイヘトモ。
スヘテ。凡夫報土ニ。ムル、事ヲ。ユルサバルユヘニ。善導ノ釋
義ニヨリテ。浄土宗ヲタツルトキ。スナハキ。凡夫報土ニ。ムル
ルコト。アラハル、也。コ、ニ。人オホク。誹謗レテイハク。カナラス。宗
義ヲ立セストモ。念佛往生ヲス、ムヘシ。イマ宗義ヲタツル
事ハ。タ、コレ。勝他ノタメナレヘシ。我輩凡夫。ムル、コトヲエ
ハ。應身應土ナリトモ。足ヌヘシ。ナンゾ。強ニ報身報土ノ義
ヲ。タツルヤト。コノ義。一往コトハリナルニ。似タレトモ。再往ヲイ

へつノ義ヲシラサルガユヘナリ。モシ別ノ宗ヲ立セスハ。凡夫
報土ニ生スル事モカクシ。本願ノ不思議モアラハレカタキナ
リ。シカシ公善導和尚ノ釋義ニ。ミカセテ。カタク報身報土ノ
義ヲ立ス。コレヲク。勝他ノタメニアラストソ。オホセラレケル

第七段

上人幡磨ノ信寂房ニオホセラレケルハ。ゴ、ニ宣旨ノ二侍
ヲトリタカヘテ。鎮西ノ宣旨ヲハ。坂東ヘクダシ。坂東ノ宣旨
ヲハ。鎮西ヘクダシタランニハ。人モ千井テンヤトソ給ニ。信寂房
シバラク案シテ。宣旨ニテモ候ヘ。トリカヘタランヲハ。イカ、モ千
井侍ヘキト申ケレハ。御房ハ道理ヲシレル人カナ。ヤカテ。サソ
帝王ノ宣旨トハ。釋迦ノ遺教ナリ。宣旨ニアリトイフハ。正

傳

偽末ノ三時ノ教ナリ。聖道門ノ修行ハ。正偽ノ時ノ教ナ
ルカユヘニ。上根上智ノトモカラニアラサレハ。證シカタシ。各ヘ
ハ。西國ノ宣旨ノコトシ。淨土門ノ修行ハ。末法濁亂ノ時
ノ教ナルカユヘニ。下根下智ノトモカララ。器トス。コレ奥州
ノ宣旨ノコトシ。シカシハ。三時相應ノ宣旨。コレヲトリタカフ
マシキナリ。大原ニシテ。聖道淨土ノ論談アリシニ。法門ハ。牛
角ノ論ナル。シカレトモ。機根クラヘニハ。源空カキタリキ。聖道
門カラカレトイヘトモ。時スキヌレハ。イ、ノ機ニカナハス。淨土門
ハ。アサキニ。似タレトモ。當根ニカナヒ。ヤスレト。イヒレトキ。末法
萬年餘經悉滅。彌陀一教利物偏増ノ道理ニオシテ。
人ミナ。信伏シキトソ。仰セラレケル

第八段

震旦ニ淨土ノ法門ヲノフル人師オホシトイヘトモ。上人
 唐宋二代ノ高僧傳ノ中ヨリ。曇鸞道綽善導懷感少
 康ノ五師ヲ又キイテ。一宗ノ相兼ヲタテ給ヘリ。其後俊
 乘坊重源入唐ノトキ。上人仰ラレテイハク。唐土ニ五祖
 ノ影像アリ。カナラス。コレヲワタスヘシト。コレニヨリテ。渡唐ノ
 後。ア一子ク。タツ子モトムルニ。上人ノ仰タカハス。ハタシテ。五祖
 シ一鋪ニ圖スル。影像ヲ得タリ。重源イヨイヨ。上人ノ内監
 冷然ナルコトヲレル。カノ當麻寺ノ曼陀羅彌陀如來化
 尼トナリテ。大炊天皇ノ御宇天平寶字七年ニ。シリアラ
 ハシ給ヘル。鹽像ナリ。序正三方ノ縁ノサカヒ。日觀ニ障ノ

雲ノアリサニ。人サラニツキ。ヘカタカリシヲ。ノチニ。文德天皇
 ノ御宇天安二年ニ。モロコレヨリ。ワタシル。善導大師ノ御
 釋ノ觀經ノ疏ノ文ヲ見テ。人。不審ヲハ。ヒラキ傳シカ。天
 平寶字七年ヨリ。天安二年ニ。イタルマテハ。九十六年ナ
 リ。ソノカミ。吾朝ニテ。ヲラシタル。曼荼羅ノハルカノ後ニ。ワタシ
 ル觀經ノ疏ノ文ニ。符合セルヲハ。不思議トコソ。申傳テ侍
 シ。イマ上人サキダチテ。淨土ノ宗義ヲ。ヒラキタマヒ。後ニ重
 源入唐ノ時。カノ影像ヲ。ワタスヘキヨシヲ。命セラシ。ワタスト
 コロノ影像。上人ノ仰ニ。タカハサルコト。豈奇特ニアラスヤ。井
 シハ。道俗貴賤。カノ五祖ノ真影ヲ拜シテ。イヨイヨ。上人ノ
 德ニ歸シマス。念佛ノ信ヲ。フカクシナリ。當時。二尊院ノ

經藏ニ安置スルハカノ重源將來ノ真影也

第七卷

第一段

上人々、諸宗ノ教門ニアキラカナルノミニアラス。修行オホクソノ證ヲ得給キソノカミ。四明黒谷ニシテ。法華三昧ヲオコナヒ給シトモ。普賢白象ニノリテ。マノアタリ。道場ニ現シタマフ。又上人アル時。虚空上人ナラビニ。西仙房トトモニ。ヲコナヒタマヒケルニ。山王影向ニテ。納受ノカタチヲアラハシ給ケリ。コレ未代ノ奇特ナリ

第二段

上人黒谷ニシテ。華嚴經ヲ講シ給ケルニアヲキ小クナハ

机ノタヘニアリケルヲ。法蓮房信空ニトリテスツヘキヨシ。仰セラレケレハ。カノ法蓮房カギリナク。クナハニラツル。人ナリケレトモ。師ノ命ソムキガタキヨリテ出文机ノ明障子ヲアケマウケテ。チリトリニ。六キイシテナゲステ。障子ヲタテ、ゲリ。サテカヘリテミレハ。クナハナヲモトノトコロニアリケリ。コレヲミルニ。遍身ニアセイテ。オソロシカリナリ。上人見給テ。ナトリテハ。ステラレヌソト。仰セラレケレハ。法蓮房シカシカト。コタヘ申サルルニ。上人黙然トシテ。物モノタマハサリケリ。其夜法蓮房ノ夢ニ。大龍カタチヲ現メ。我ハコレ。華嚴經ヲ守護スルトコロノ龍神ナリ。オソル、コトナカレト。イフト思テ。ユメサメニケリ。ムカシコノ經龍宮ニアリテ。人間ニ流布セス。龍樹菩薩龍

宮ニユキテ。コレヲヒラキ見テ。人間ニカヘリテ。コレヲヒロメ給
キ。ソノチ。覺賢ニ截震且ニシテ。安帝義熙十四年三月
十日ヨリ。揚州謝司空寺ニ護淨華嚴法堂ヲタテ。花
嚴經ヲ譯シ給シトキ。堂ノマヘノ蓮華池ヨリ。毎日ニ青衣
九。二人ノ童子。アシタニイテ。チリヲハラヒ。スミヲスリ。クルレ
ハ。イケノ底ヘナシカヘリ入ケル。經ヲ譯シヲハリテ。ノチハミエス。
ナリニケル。コノ經ヒサシク。龍宮ニアリレユヘニ。龍神ウヤマヒ
テ。守護ヲクハヘ侍ケルニコソ。上人ノ披講ニコトイタリテ。龍
神ヲ感セシメタマヒケル。ユハシクソ侍ケル

第三段

上西門院フカク。上人ニ歸マシメシテ。念佛ノ御志アサカ

ヲサリケリ。或時上人ヲ請シ申サシテ。七箇白ノアヒタ。説戒
アル。圓戒ノ奧旨ヲノヘ給ニ。一ツノクナハ。カラカキノ上ニ。七
日ノアヒタ。パタラカスシテ。聽聞ノ氣色ナリ。ミル人アヤシミオ
モフホトニ。結願日ニアタリテ。カノクナハ死セリ。ソノカシラン
中ヨリ。一ツノ蝶イテ。ソヲニホルト。ミル人モアリ。天人ノカタ
クニテ。ノホルト。ミル人モアリケリ。昔惠表比丘武當山ニシ
テ。元量義經講讀セシニ。ゴエヲキク。青崖歡喜苑ニ生セリ。
カノ先蹤ヲ思ニ。コノ小蛇モ大乘ノ結縁ニヨリテ。天上ニ
△ニ侍ケルニヤ

第四段

上人秘密ノ窓ニイリ。觀念ノ床ニ坐シ給シニ。アルトキハ。蓮

花アラスレアルトキハ。羯磨ヲミアルトキハ。寶珠ヲ拜ス。觀心
明^{アキラカ}ニシテ。瑞相^{ズイサウ}ヲ。眼前ニアラハレ給コト。オホカリケリ

第五段

上人アル夜夢ミラク。一ツノ大山アリ。ソノ峯^{ミネ}キハメテタカシ。南
北長遠ニシテ。西方ニムカヘリ。山ノフモトニ。大河アリ。碧水^{スイスイ}
北ヨリ出テ。波浪^{なみ}南ニナガル。河原^{かわら}眺々トシテ。邊際^{へんさい}ナク
林樹^{りんじゆ}茫茫トシテ。限數^{ゲンスウ}ヲシラス。山ノ腹^{はら}ニホリテ。ハルカニ。西
方ヲミタメハ。地ヨリカミ。五丈ハカリアカリテ。空中ニ一聚ノ
紫雲^{しゆん}アリテ。コノ雲トビキタリテ。上人ノトコロニイタル。希有^{きゆう}
ノ思^しヲナシ給トコロニ。コノ紫雲ノ中ヨリ。無量ノ光ヲイタス。
光ノ中ヨリ。孔雀^{くわんぐ}鸚鵡^{いんぼう}等ノ。百寶色ノ鳥トビイテ。ヨモニ

散シ。又河濱^{かわべ}ニ遊戯^{ユウキ}ス。身ヨリ光ヲハナチテ。照耀^{せうやう}キハマリナ
シ。ソノノキ。衆鳥トビノホリテ。モトノコトク。紫雲ノナカニイリ
ヌ。コノ紫雲ニヌ。北ニムカヒテ。山河ヲカクセリ。カレコニ。往生
人アルカト。思惟^{しゆい}シ給ホトニ。又須臾^{しゆん}ニカヘリキタリテ。上人
ノメニ住ス。ヤウヤク。ヒロゴリテ。天下ニ覆フ。雲ノ中ヨリ。
一人ノ僧出テ。上人ノ所ニキタリ住ス。ソサマ腰^{こし}ヨリ下金^{しも}
色^{いろ}ニシテ。コレヨリカミハ。墨染^{すみぞめ}ナリ。上人合掌^{がっしょう}伍頭^{ごとう}シテ。申
タメハク。コレ誰人ニシテ。スソヤト。僧答^{とこたへ}給ハク。我ハコレ善道^{ぜんどう}
ナリト。ナニノタメニ來給ソヤト。申給ニ。汝專修^{ぜんしゆ}念佛^{にふつ}ヲ。ヒロ
ムルコト。貴^{たか}カユヘニ。キタレルナリト。ノ給トミテ。夢サメヌ。又晝^{ひる}
工^{くわ}乘^せ臺^{たい}ニオセテ。ユメニミルトコロヲ。圖^ずセシム。世間^{よこ}ニ流^{なが}布^ふシ

テ夢ノ善導トイヘルコレナリ。ソノ面像ノ千ニ唐朝ヨリワタ
ルル影像ニタカハサリケリ。上人ノ化導和尚ノ尊意ニカナヘ
ルコトアキラケシ。カレハ上人ノ勸進ニヨリテ。稱名念佛ヲ
信シ。往生ヲトルモノ。一州ニミチ四海ニアマ子シ。前兆ノ
ムナシカラサル。ダレノ人カ。信受セサラン

第六段

上人專修正行。ドシヲカサ子。一心專念功ツモリ給シカ
少井。口稱三昧ヲ發シ給キ。生年六十六建久九年
正月七日ノ別時念佛ノアヒタハレメニハ。ツツ明相アラハ
シ。次ニ水想影現シ。ノチニ瑠璃ノ地スコシキ現前ス。同二
月ニ寶地寶樓ヲ見冬。ツツヨリノチ。連々ニ勝相アリ。

或時ハ。左ノ眼ヨリ光ヲ出ス。眼ニ瑠璃アリ。カタチ瑠璃ノ
ツボノコトシ。ツボニアカキ花アリ。寶瓶ノコトシ。或時ハ。バルカニ
西方ヲ見ヤリ給ニ。寶樹ツツナリテ。高下心ニシタカヒ。或
時ハ。座下寶地トナリ。或時ハ。佛ノ面像現シ。或時ハ。三尊
大身ヲ現シ。或時ハ。勢至來現シ給。スナハチ。畫工ニ命シ
テ。コレヲウツシド。メラル。或時ハ。寶鳥琴笛芋ノ種々ノコ
エヲキク。コハレキム子。御自筆ノ三昧發得ノ記ニミエタリ。カ
ノ記。上人存日ノアヒタハ。披露ナシ。勢觀房遺跡ヲ相兼
ノハチ。コレヲ披見セラレケリ。高野ノ明遍僧都ハ。カノ記ヲ
ヒラキミテ。隨喜ノ涙ヲナカサシケルトナニ

第八卷

第一段

上人三昧發得ノ。千ハ。暗夜ニ燈燭ナレトイヘトモ。眼ヨ
リ光ヲハナキテ。聖教ヲヒラキ。室ノ内外ヲ見給フ。法蓮房
モ。ゴノアタリ。コレヲ拜シ。隆寛律師モ。ゴトニ此事ヲ。信仰セ
ラレナリ。アルトキ。青燭ノ程ニ。上人ノドカニ。聖教ヲ披覽シ
給フ。ヲトノシケレハ。正信房イニ。燈明ナド。タテツルトモ。覺
サリツルニヒ。オホツカナクテ。ヒソカニ。座下ヲ伺ニ。左右ノ御目
ノスミヨリ。光ヲハナキテ。文ノ面ヲテラレテ見給ゾ。光ノアキ
ラカ九コト。トモレヒニスキタリ。イミシク。タウトキコト。カギリナレ。
カヤウノ内。證ヲハ。フカク隱密スルコトニテ。侍ニト思テ。マキア
レ。テ。マカリイテ。又。アルトキ。更々。夜ニツマリテ。深窓ニ人

ナレ。上人ヒトリ念佛レ給。御聲勇猛ナリケレハ。ヨナヨナ。老
骨ヲハケマシ。ゾコタリナキ。御ツトメ。イタハシクモ貴モ覺テ。モシ
御用ヤ。イヌラントテ。正信房マイリテ。ヤリドヲヒキアケテ。見
タテマツレハ。身光赫奕トシテ。坐レ給ヘル。疊ニ下帖カ上ニミ
テリ。明ナルコト。暮山ニ望テ。夕陽ヲ見カコトシ。身ノ毛モ立
許ナリ。タウトシト。イフモヲロカナリ。心ツキナクヤ。オホスラン。サ
レハトテ。ヤカテマカリイテ。ンコトモ。中々也。進退ツツラフトコ
ロニ。ゴトノヤウ。ミエヌトヤ。思給ケシ。上人タレソト問給。湛空
ト答申サレケレハ。ハヤシテ各ヲモガヤウニナレタテマツラハヤナ
トソ。仰ラレケル。慈恩ムカシ。玄梵ノ門下ニアリテ。眼ヨリ光
ヲハナキテ。夜聖教ヲヒラキレカハ。泗州大師上座ナリレカト

モナヲ其德ニ信伏シテ。アフキテ。師範トシ給キ。イマ邊州ニ
シテ。未代タリトイヘトモ。奇特マコトニ。上古ニ耻ザルヲヤ

第二段

アルトキ上人念佛シテ。オハレケルニ。勢至菩薩來現シ給
フコトアリケリ。ソノタケ。一丈餘ナリ。畫工ニ命シテ。其相ヲ
ウツレド、メラシナガク本尊トアフキ申サレケリ

第三段

上人アカラサマニ。草庵ヲタキイテ、ガヘリタマヘリケルニ。彌
陀ノ三尊繪像ニアラス。木像ニアラス。カキヲハナシ。板敷ニ
モ。天井ニモツカズシテ。オハシメケリ。其後ハ拜見シ給コト。ツ子
ノ事ナリケリ

第四段

トコロトコロニ。別時念佛ヲ修シ。不断ノ稱名ツトムルコト
ミナモト。上人ノ在世ヨリオコシリ。ソノナカニ。上人元又ニマ
年正月一日ヨリ。靈山寺ニシテ。三七日ノ別時念佛ヲ
ハシメ給ニ。燈ナクシテ。光明アリ。第五夜ニイタリテ。行道スル
ニ。勢至菩薩オナレク。列ニタチテ。行道シ給ケリ。法蓮房夢
ノコトクコレヲ拜ス。上人ニ。ヨノヨシヲ申ニ。サル事侍ラント答
給。餘人ハサラニ拜セス

第五段

同年四月五日上人月輪殿ニイリ給テ。數尅御法談
アリケリ。退出ノトキ。禪閣庭上ニ。ツレオリサセ給テ。上人

ヲ禪拜シ。御ヒタヒヲ。地ニツケテ。ヤ、ヒサシクアリテ。オキサセ
給ヘリ。御^ミ涙^{ナミ}ニムセヒテ。仰ラシテイハク。上人地ヲハナシテ。虚^コ
空^{クウ}ニ。蓮花ヲフミ。ウレロニ頭光現レテ。出給ツルヲバ。ミズヤト。
右京權大夫入道^{チヨウケンタフ}。戒名^{ゲイメイ}中納言阿闍梨^{アセリ}尋玄^{ジンゲン}。蓮房^{レンボウ}二
人御前ニ候ケル。ミナ見タテマツラサルヨレヲ申。池ノ橋ヲワ
タリ給ケルホトニ。頭光現レケルニヨリテ。カノ橋ヲ公頭光ノ橋
トソ申ケル。モトヨリ。御歸依^{キエ}フカ、リケルニ。ゴノ後ハ。イヨイヨ。
佛ノコトクニソ。ウヤマイ。タテマツラシケル。

第六段

アル人^{不注}名字^{ミナジ}。上人ノ念珠^{ネンジュ}ヲ給テ。ヨルヒル。名號ヲトナフ。アル
時。アカラ弁ニ。タケクギニ。カケタリケルニ。下室照曜スル事ア

リケリ。ソノ光ヲタ、レミルニ。上人恩賜^{オンキ}ノ念珠ヨリイテタリ。
珠コトニ。歷々^{レキレキ}タリ。ナラシ晴^{ハル}ノ夜ニ。星ヲミルカコトシ。奇異^{キイ}ノ
事ナリトイヘリ

第七段

上人ノ弟子勝法房^{セツポフ}ハ。繪ヲカク仁ナリケルカ。上人ノ真影
ヲ畫^{エガキ}タテマツリテ。其銘^{ナリ}ヲ所望^{ソウボウ}シケルニ。上人コレヲ見給テ。
鏡^{カミ}二面ヲ左右ノ手ニモキ。水鏡ヲニヘニヲカシテ。頂^{イタダキ}ノ前後
ヲ見合ラレ。ダガフトコロニハ。胡粉^{ココ}ヲヌリテ。ナラシツケラレテ。ノ
チコレコソ。似タレトテ。勝法房ニタマハセケリ。銘ノ事ハ返答
ニ。ヲヨバレサリケルヲ。勝法房後日ニ。又案テ申出タリケレハ
上人ノ御マヘニ侍ケル紙ニ。

我本因地 以念佛心 入無生忍
今於此界 攝念佛人 歸於淨土

十二月十一日 源空

勝法御房

トカキテ授ラレケル。是ヲ彼真影ニ押テ。歸敬シケリ。コレハ首楞嚴經ノ勢至ノ圓通ノ文ナリ。上人ハ勢至ノ應現タリト。イフコト。世舉テコレヲ稱ス。レカルニオホクノ文ノ中ニ。勢至ノ御詞ヲ自賛ニ用ラレ侍ル。ゴトニ奇特ノ事ナリ。彼真影ヲ拜シタテミツルニ。胡粉ヲ塗テナホサレタル所多シ。コレ未代ノ龜鏡タルニヨリテ。彼自筆ノ本ヲ寫テ。此繪ニ加置トコロナリ。又或人上人ノ真影ヲ寫テ其銘ヲ申

ケルニモ。ゴノ文ヲ書テ賜ケリ。彼正本ツタハリテ。イマニアリトナシ申侍ル。又讚州生福寺ニスミ給シ時ハ。勢至菩薩ノ像ヲ自作シテ。法然本地身大勢至菩薩爲度衆生故顯置此道場等云置文ニツ載ラシケル。委事ハ彼配所ノ卷ニシルスモノナリ。勢至ノ垂迹タル条ソノ證據カクノコトシ。尤仰信スルニタシリ

第八段

諸人感夢ノ事オホキナカニ。或人ハ上人蓮花ノナカニシテ。念佛ニ給トミルアルトキハ。天童上人ヲ圍繞シテ。管絃遊戯スルトミル。或ハ又洛中皆鬪諍堅固ナシトモ。夕上人ノ住所ハカリ。無爲ナリゴレスナハチ念佛スルユヘナリトミル。

或ハ嵯峨釋迦如來ツケテノ給ハク當時法然房トイフ人
ノヒラキタル。往生ノ道千妙ニシテオホクノ人ミナソノミチヨ
リ往生スヘシト仰ラルトミルザレハ上人勸化ノ子都鄙
ニ往生ヲトクル人オホシ紫雲音樂コノニモ三エカシコニモキ
コユ夢ノツゲムナシカラサルコトヲシリマ極樂ニソニヲカケシ
トモカラスレカ上人ノヲシヘヲアツカサシ

第九卷

第一段

上人道心ウチニ薰シ行業ホカニアラハル上王公ヨリ下モ
黎元ニイタルニテノ徳ニ歸セストイフコトナカリキ。後白
河法皇河東押小路ノ仙洞ニテ御如法經ヲ修シ

ニスコトアリキ。上人ヲモテ御先達トセラル。文治四年八
月十四日前方便ヲハシメラル。御經衆ハ法皇妙音院
入道相國師長源空上人ナラヒニ門弟行賢大徳山
門良宴法印行智律師仙雲律師覺兼阿闍梨重
圓大徳園城寺ニ道顯僧都真賢阿闍梨玄修阿闍
梨圓隆阿闍梨圓玄阿闍梨等ナリ。去十日日吉ノ社
ニ臨幸アリシ時衆徒執當澄雲法印ヲモテ申入ケルハ
東寺ノ僧人方度ノ御經衆ニメシ入ラルヘキヨシツノキユエア
リ。慈覺大師始行ノ法則ナリ。他門ノ僧シカルヘカラス。或
ハ上人メシ入ラルヘキヨシ風聞コシハアナカチニ子細ヲ申ヘ
カラスト云コシニヨリテ東寺ノ僧ハメサシス。上人ハ勅喚ア

リテ。御先達ヲツトメラル。上人藤次ノ第一タルウヘ。先達
タリ。一座タルヘキヨシ。オホセラル。上人辞申サルトイヘトモ。
勅定シキリナルニヨリテ。第一座ニ著ス。正座ノ東西ニ座
ヲシク。東ノ一座上人。西ノ一座ニ法皇。上人ノツキニ。入
道相國著シ給。良宴法印以下。官次ニ。ミカセテ列座ス。
行基菩薩ハ。世俗ノ法ニヨリテ。婆羅門僧正ノシモニ著シ
給キ。コノ例ニナゾラヘハ。良宴法印上座タルヘシトイヘトモ。
別勅ニテ。上人一座ニ著セラル。上人禮槃ニノホリテ啓
白。其後錫杖ヲ誦シ。懺法ヲハシメタマフ。前方便ノ間ハ。
毎日二三時懺法ナリ。同廿日ノ後夜ノ時ヨリ。正懺悔ス。
ハシメラル。後夜ノ調聲ハ。上人。晨朝ノ調聲ハ。法皇御ツト

メナリ。堂莊嚴義ヲツクサシ。作法又嚴重ナリ。法皇御靈
夢ノ事ニシメシケリ。子細御願文中納言兼光御草之ニ三エタリ

第二段

九月四日御料紙ヲムカヘラル。件ノ料紙ハ。觀性法橋
ノ進スルトコロナリ。カノ法橋慈鎮和尚千時法印同宿ノアヒ
夕。御料紙安置ノ所ハ。和尚ノ住房三条白川ナリ。鳥羽
院ノ第七宮覺快親王ノ舊跡ニテソアリケル。良宴法印
以下。十一人ノ經衆ハ。カノ所ヘムカウ。宿老ハノコリト。ニ
ル儀ニナソラヘテ。法皇上人相國禪門道場ニ。ミウケサセ
給フ。料紙ヲ銅ノ筒ニオサヌ。御輿ニ入タテミツリテ。ムカヘタ
テツル。南ノヒカクシノシタニ。案ヲタテ。御輿ヲカキスヘタテ

ツル。良宴法印以下ノ經衆外ニ候シニ。伽陀ヲ誦ス。正
面ノ明障子ヲアケラシテ。法皇伽陀ヲ誦シ。ミマス。上人
入道相國。オナジク助音申サシ。料紙ヲ道場ニ安置ノ
チ行道合致アリ。ユノ儀ハサタミル法式ニアラス。上人コレ
ヲ申ヲコナハシケリ

第三段

同八日。寫經ノ水ヲムカヘラル。下臈ノ僧衆等。横川ニ
ホリテ。慈覺大師ノヲコチヒ給シ。根本ノ水ヲクミテ。銅ノ瓶
ニイシテ。持參ス。同十日御筆立ナリ。慈鎮和尚觀性
法橋ハ。御經衆ニアラストイヘトモ。モトヨリ。如法經中タル
ニヨリテ。寫經ノ時參セラル。和尚ハ入道相國ノシモニ著

シ。觀性法橋ハ仙雲律師ノシモニ坐ス。上人禮槃ニホリ
テ啓白。下座ノ、チ。行道ヲハリテ。伽陀ヲ誦ス。其後十六
人着座シテ。同時ニ筆ヲトリテ。書寫ヲハシメラル

第四段

同十一日。巳。冠ニ御書寫コトヲヘシカハ。スナハチ。十種供
養ノ儀アリ。伶人ノ上達部透渡殿ニ著ス。地下ノ樂人
日隱ノ西ノ腋ニ坐シテ。沙陀調ノ調子ヲフク。正面ノ庭
上ニ赤地ノ錦ノ地鋪ヲヒキテ。ソノ上ニ机ニ脚ヲタテ。
十種供養ノ具ヲ安ス。天童ニ舞童十六人。東西ヨリス。ミ出
テ。供具ヲトリテ。南ノ階下ニ參シテ。傳供成衆僧正面左右立傳
供ス。ゴノアヒタ。十天樂ヲ奏ス。御導師澄憲法印ナリ。傳供

トキハ。制禁カタクシテ。參詣ノ道俗。ヤリ水ノ北ニノソノストイヘ
トモ。說法ノ時ハ。勅許アリテ。聽聞ノ緇素群ヲナス。弁舌
玉ヲハク。貴賤ミナ涙ヲナカス。說法ノオモムキ。前々ニ超過
セリ。コトニ敬感アルヨシ。權大納言兼雅卿ヲモテ。仰下サ
ル。導師下座ノ時。千秋樂ヲ奏ス。入道相國唱哥中ノ
御門大納言宗家卿助音。凡今日ノ儀式萬代ノ羨
談ナリ。六十ノ御賀ヲ、コナハレス。自然ニコノ事ニアル。カノ
ヨシ。時ノ人申アヘリ

第五段

同十三日御經奉納ノタメニ。首楞嚴院ニ臨幸アリ。長
刺圓良法印ノ沙汰トシテ。水飲ニ御所ヲマウケ。供御ナ

ラヒニ。御行水ヲ用意ス。法皇鳥居ノ岡ヨリ。御步行。三ツ
四季講堂ニ入御ソノ、千。如法堂ノ中門ノ外ニ。天童以
下供具ヲサ、ケテ。左右ニタツ。樂人法界房地。初候樂ヲ奏
ス。中門ノラキヨリ。御淨履ヲタテミツリテ。如法堂ニ入御。
中門ヨリ。御堂ニイタルニテ。庭道ヲシタ。西ノ戸ヨリ。御經ヲ
入タテ、ツリテ。正一面ノ南ノ庇ニ安ス。御經衆南ノ簀子ニ
候ス。行智律師御經ヲトリ出タテ、ツル。法皇ラケトラセ。
オハシマシテ。長刺圓良法印ニ。ワタシタマハス。コノアヒタ伽陀
ヲ誦ス。御導師圓能法印ナリ。干時說法ノ、千。中門ノ
ホカニシテ。御布施ヲタマフ。次二十天樂ヲ奏ス。サテ法界房
ニ渡御ノ、千。宗明樂ヲ奏シ。伽陀ヲ誦ス。導師又圓能法

印ナリ。啓白下座ノ後。中堂ニ臨幸アリ

第六段

中堂ヨリ還御。食堂ニシテ。御裝束ヲアラタメラル。ゴノアヒ
タ。衆徒庭上ニ群參シテ。延年種々ノ藝ヲホトコス。奉行
人定長卿ヲモテ。御願無爲ノ条。ヒトヘニ。コレ衆徒祈念
ノイタストコロナリ。歡感ハナハタレキヨシ。澄雲法印ニ。オホセ
クタサル。澄雲庭ニオリテ。勅定ノオモムキヲ。衆徒ニオホソ
ク。テ。ユフベヲヨヒケレハ。スナハク還御アリ。辰尅ニ。押小路
殿ニ著御。本道場ニシテ。懺法ヲ。コナハル。コレヲ歡喜懺
法ト号ス。抑慈覺大師ノ門徒餘流山門園城ノ碩德
高僧ゾノ數オホカル中ニ。隱道ノ上人ヲメレイタシテ。御先

達トセラシケルコト。シカレナカラ。佛德ノイタリ。御歸依ノア
リナリ

第十卷

第一段

高倉院御在位ノトキ。兼安五年ノ春。勅請アリシカハ。主
上ニ。一乘圓戒ヲサツケタテマツラル。郷相頂戴シ。宮人替
首ス。清和御門貞觀年中ニ。慈覺大師ヲ紫震ニ請シタ
テマツラル。天皇々々トモニ。圓戒ヲウケマシメシキ。上人カノ
九代ノ嫡嗣トシテ。法流タ。一器ニツタハリキ。ハルカニ。イニ
レヘノアトヲ。オコレタマヒヌルコト。イミシク侍シ

第二段

後白河、法皇勅請アリケレハ。上人法住寺ノ御所ニ參シ
タニヒテ。一乘圓戒ヲサツケ申サレケリ。山門園城ノ碩德ヲ
メサレテ。番々往生要集ヲ講シ。ヲノヲノ所存ノ義ヲノハサセ
ラレケルニ。上人オホセニシタカヒテ。披講シ給ケルニ。往生極
樂ノ教行ハ。濁世末代ノ目足ナリ。道俗貴賤タレカ歸セサ
ランモノト。ヨミアケ給ヨリ。ハシメテ。キコレメサル、ヤウニ。御キモ
ニソミテ。タウトク。御感涙ハハタシカリケリ。御信仰ノアマリ。
右京權大夫隆信朝臣ニ。オホセテ。上人ノ真影ヲ圖シテ。
蓮花王院ノ寶藏ニ。オサメラル。先代ニモゾノ例マシナル事
トツ。申アヘリケル

第三段

後白河ノ法皇ヒトヘニ。上人ノ勸化ニ歸シマシ。御信
仰他ニコトナリシカハ。百萬遍ノ御苦行。二百餘箇度マテ。
功ヲツミ。比類ナキ御事ニテソ。マシケル。建久三年正月
五日ヨリ。御惱アリケルニ。日ニシタカヒテ。ヲモラセオハシマシ
ケレハ。御善知識ニ參セラルヘキヨシ。仰下サル、ニヨリテ。二
月廿六日ニ。上人參シタマヒテ。御戒ヲ授タマツラシ。御
往生ノ儀式ヲサタメ申サル。念佛往生ノ道ハ。日コロキコ
シメシヲカレケルウヘ。カサ子テ申入ラル、ム子、ハシゴロナリシ
カハイヨイヨ御信心ヲカクシテ。御念佛ヲコタラセタマハス。御
臨終チカツカセ給ケレハ。同二月十二日戌刻ニ御佛ヲ
渡シタテマツラシ。十三日寅刻御臨終正念ニシテ。稱名

相續シ。御端坐タガ子フルカコトクシテ。往生ノ素懷ソノヲトケサセ給キ。御年六十六ナリ。誠ニ御宿縁ヨクノイタリ。アハレニソ。オホ侍

第四段

法皇崩御ホウノ後。カノ御菩提ノ御タメニ。建久三年秋ノコケロ。大和ヤマト前司親盛チカヒ入道ミチノ見法名ミハ坂サカノ引導ヒキ手ニシテ。心阿彌陀佛調聲シ。住蓮安樂ハス見佛ミ等ノタクヒ。叩音ヒキシテ。六時禮讚ヲ修シ。七日念佛ス。結願ノ時。種々ノ捧物サゲヲトリイテケルヲ。上人不受ノ氣オハシメシテ。念佛ハミツカラノタメノツトメナリ。法皇ノ御菩提ニ。迴向シタテマツルトモ。布施以外ノ事ナリ。ユメユメアルヘカラストソイマシメ給ケル。コ

レ六時禮讚苦行ノハシメナリ

第五段

後白河ノ法皇ノ十三年ノ御遠忌トホニアタリテ。土御門ツチミカド院元久元年三月ニ。御佛事ヲ修セラレケルニ。上人蓮華王院ニシテ。淨土ノ三部經ヲ書寫セラレ。能聲ノヲエラヒテ。六時禮讚ヲ勤行チンシテ。子ニコロニ。御菩提ヲノ。訪申サレケル。又大和入道見佛モオナレク。法皇ノ御菩提ヲイノリ申サシタメニ。イツレノ行法ヲカ。修スヘキト。思惟スルニ。法皇見佛カ夢ニ。我菩提ヲハ。如法ヨクニ訪ヘキヨシヲ。示サレケリ。則見佛此由ヲ。上人ニ申ケレハ。上人淨土ノ三部經ヲ如法ニ書寫スヘキ次第。法華ノ如法經ニテ。ノラヘテ。法則ホトケヲ

出サレ所謂カノ記ニ云

淨土三部經如法經次第

一御料紙事紙曾ヲ殖テ千日は是ヲコナヘ其間ハ念佛

禮讚ヲ用ヘシ若カクノコトクヲコナヘル料紙ナクハ市ノ

料紙ヲ用ヘシ

一堂莊嚴事如常

一前方便七箇日事沐浴潔齊淨衣等常ノコトニ但

緝綿ノ類ハ用否人ノ意ニアルヘシ

一入道場次第門前ノ灑水井ニ香呂花象香籠等常

ノコトニ次ニ無言行道三反奉請合致等常ノコトニ

次ニ諸衆寶床ノ前ニ列立シテ趨禮ノ伽陀ヲ誦スヘ

シ其詞ニ云

歸命本師釋迦佛 十方世界諸如來

願受施主衆生請 不捨慈悲入道場

南無十方三世一切諸佛哀愍納受入此道場

本國彌陀諸聖衆 平等俱來坐道場

道場聖衆實難逢 衆等頂禮彌陀會

南無極樂世界諸尊聖衆慈悲護念證明功德

次彌陀ヲ讚嘆シタテツルヘシ

弘誓多門四十八 偏標念佛寂為親

人能念佛今還念 專心想佛今知人

南無極樂化主彌陀如來命終決定往生極樂

次ニ經ヲ讚嘆スヘシ

念々思聞淨土教 文々句々誓當勤

憶想長時浪波苦 專心聽法入真門

南無淨土三部甚深妙典命終決定往生極樂

次ニ禮讚日没ノ時ヨリ是ヲ始ヘシ。諸衆着座。導師登

禮盤禮讚ノ後高聲念佛三百反。但時ノ早晚ニヨルヘ

シ。禮讚ノ時尅ハ日没申時初夜戌時半夜子時後夜

寅時辰朝辰時日中午時ナルヘシ。次ニ佛經ヲ讚歎ス

ヘシ。伽陀其詞先ノコトシ。但開白ノ時ハ念佛以後ノ讚

嘆ヲ略スヘシ。又開白以後ハ惣禮ノ伽陀ヲ略スヘシ。次

ニ例時ノ作法常ノコトシ。但日没一時ヲ用ヘシ。次ニ讀

經ハ雙卷經ナルヘシ。轉讀ノ多少時ノ早晚ニ隨ヘシ。次出堂

後々ノ時コレニナソラヘテ知ヘシ。前方便七箇日ノ

間。日別カクノコトクナルヘシ

一寫經七箇日事。沐浴齋入道場禮讚念佛讀經

等ノ次第。前方便ノコトシ。一事モ違スヘカラス。筆立ノ

次第。初日晨朝ノ禮讚以後。啓白アルヘシ。其器量ヲ

選ヘシ。分經并二墨筆等以下ノ諸事常ノコトシ。日別

ノ書寫禮讚以後多少時ニヨルヘシ。但七箇日ノ間ニ

其功ハ終ヘキナリ。日別解説日中ノ禮讚以後ナルヘ

シ。日々ノ次第。是ニナソラヘテ知ヘシ。七箇日間ノ儀式

カクノコトシ

次ニ奉納ノ次第常ノコトシ佛經讚嘆先ノコトシ但
讚嘆ノ多少時宜ニヨルヘシ奉納路次ノ間モ合致常
ノコトシ
上ノ人記録ノ法則カクノコトシ追福ノタメニコレヲノ善
根ヲ修スル事ゴノトキヨリハヒレルトナシ申ツタヘ侍ルサレハ
其後三部經ヲ如法ニ書寫スル事世ニオホクキコエ侍リ

第六段

後鳥羽院度々勅請アリテ圓戒ヲ御傳受上西門
院修明門院オナシク御受戒アリキカハリレカハ三ノ公
公卿カウヘヨカタフケ一朝アフキテ傳戒ノ師トセスト
イフ事ナカリキ

傳繪詞卷二終



